

「鏡文字・歌詞クイズの解答」

「春が来た」 (明治四十三年)

一、春が来た 春が来た
どこに来た 春が来た
山に 来た 里に 来た
野にも 来た

二、花が咲く 花が咲く
どこに咲く 里に 咲く
山に 咲く 里に 咲く
野にも 咲く

三、鳥が鳴く 鳥が鳴く
どこで鳴く 里で 鳴く
山で 鳴く 里で 鳴く
野でも 鳴く

「おぼろ月夜」 (大正三年)

一、菜の花畑に
入り日薄れに
見渡す 山の端
霞ふかし
春風そよぶく
空を見れば
夕月あかりして
においあわりして

「背くらべ」 (大正八年)

一、柱のきずは おとしの
五月五日の 背くらべ
ちまき食べ 食べ
兄さんが 背のたけ
計ってくれた
昨日の やべりや
何の 羽織の紐のたけ
やと

「青い目の人形」 (大正十年)

一、青い目をした お人形は
アメリカ生まれの セルロイド
アメリカ生まれの セルロイド

日本の港へ着いた時
いはば涙を浮かべてた
私には葉が判らない
迷子になつたら なんとしよう

やさしい日本の嬢ちゃんよ
仲良く遊んで やつとくれ
仲良く遊んで やつとくれ

「むすんでひらいて」 (明治十四年)

一、むすんで ひらいて
手をうって ひらいて
また ひらいて
手をうって ひらいて
その手を 上に
むすんで ひらいて
手をうって ひらいて

「雨降りお月」 (大正十四年)

一、雨降り お月さん 雲のかげ
お嫁に ゆくときや 誰とゆく
唐人 唐傘 さしてゆく
誰とゆく 唐傘 さしてゆく
シヤラ シヤラ
シヤラ シヤラ
鈴つけた お馬に ゆられて
ぬれつけた ゆく

「雀の学校」 (大正十年)

一、ちいちい ばっぱ
ちいちい 学校の先生は
雀の学校の先生は
むちをふり 輪になつて
生徒の雀は 輪になつて
お口をそろえて
ちいばいばい けない
ちいばいばい けない
ちいばいばい けない
も一度一緒に

ちちち
いいい
ぱちぱ
っいっ
ぱっぱ
ぱっぱ

「一寸法師」

(明治三十八年)

一、指に足りない
大小法師に
おきない望みに
おわきの船に
はしのかいに
京へはかりゆる
のぼる

「仲良し小道」

(昭和十四年)

一、仲良し小道は
どこの道へ
いっしょに
みよちやと
ランドンセル
元氣よく
お歌をうた
通う道

「揺り籃のうた」

(大正十年)

一、揺りかごのうたを
カナリヤが歌うよ
ねんねこよ
ねんねこよ

二、揺りかごのうたを
びわりの実が揺れるよ
ねんねこよ
ねんねこよ

三、揺りかごのうたを
木ねりかごのうたを
ねんねこよ
ねんねこよ

四、揺りかごのうたを
黄色い月のうたを
ねんねこよ
ねんねこよ